

第5回南風原町議会報告会における報告書

1. 議会報告会で説明した意見・要望等

- (1) 平成28年度予算で計上されている新設・増設の保育園はいつごろできるのか。今回の新設・増設で待機児童は解消されるのか。
→認可保育園の新設・増設は今年度完成を予定していて、小規模保育園はすでに開園している。待機児童は平成30年までに解消する予定と聞いている。
議会としては、待機児童解消の取り組み強化をするよう、平成28年度予算へ留意事項を付している。
- (2) 病児病後児の保育の利用料はいくらか。病児病後児保育は就労に関わらず利用できるのか。
→生活保護世帯以外は1日2,000円で半日利用1,000円となる。平成27年度の利用者の数は332人となる。就労にかかわらず利用できる。
- (3) 放課後子ども教室は開催数の割に参加者が少ない。周知徹底がされていないのではないか。
→放課後子ども教室は放課後や週末の小学校の空教室を利用しており、津嘉山小学校区は津嘉山公民館を利用している。周知としては、子どもに文書を持たせ保護者からの申し込み制となっている。先着順で1教室等で行っているため、受け入れられる人数に限りがある。高学年は部活等を行っているため、参加者は低学年が多い傾向である。
- (4) 宮平学校線街路事業で会計検査院より指摘を受け、補助金の返還を行っている。返還金は町民が納めている税金から返還金を支出したのではないか。
→町の予算から支出している。
- (5) これまでこういう補償を行ったことがあったのか。
→過去に事例はないと聞いている。補助金返還についての経緯の説明を行った。

2. 議会・議員に対する意見・要望等

- (1) 本町議会の選挙は立候補者が少ない。待遇が悪いのか、議員定数が多いのか、立候補者を増やすための議論をしてほしい。例えば、報酬を上げて議員数を減らしてはどうだろうか。また、今の給料では若い候補者が立候補できないのではないか。政務活動費も大いに活用し、議員の資質向上につなげて欲しい。片手間で議員をやるのではなく、議員一本で生活ができ、若者達が立候補できるような議会となってほしい。
→政務活動費は平成26年度から支給され適正に活用している。議員報酬の増額については、住民の意見も考慮し検討する。

- (2) 宮平学校線街路事業の補助金返還について、詳しく調査するための調査特別委員会設置をなぜ否決にしたのか。
→返還金が生じた経緯を執行部より説明を受けた結果、議員それぞれの賛否が分かれ賛成少数で否決となった。
- (3) 今回の報告会で初めて宮平学校線街路事業の補助金返還の詳しい説明を聞くことができた。議員は今後とも町民目線に立ってチェックを行ってほしい。